

平成 26 年度事業報告

平成 28 年度に創立 50 周年を迎える歴史ある楽団として、交響管弦楽による音楽芸術の普及向上を図り文化の発展に寄与するため、公演内容の充実を図り、以下の演奏事業活動を行った。

1 演奏事業

(1)オーケストラ演奏事業(117 回)

① 定期演奏会 (28 回)

内外の著名な指揮者・ソリストを招き、楽団のさらなる技術向上と音楽芸術の発展を目指した。

愛知県芸術劇場コンサートホールにおいて、「ファースト」をテーマに 8 月を除く毎月 2 公演、計 22 回開催した。

市民会館名曲シリーズは、日本特殊陶業市民会館において、チャイコフスキー「三大バレエ+シェークスピア」及び恒例の第九コンサートとして、6 回開催した。

② 巡回演奏会 (13 回)

地方自治体等の依頼により、身近な場所で音楽に親しめる機会を提供するために、主として市外の市町村において演奏会を開催した。

③ 移動音楽教室 (32 回)

小・中・高校生を対象に、音楽の普及・教育を目的とする音楽鑑賞教室を開催した。

④ 特別演奏会 (12 回)

しらかわシリーズでは、ハイドンシリーズの 2 年目として、交響曲の傑作「ロンドンセット」を開催した。25 年度から始まった豊田市コンサートホールシリーズ、障がいのある方などを対象とした福祉演奏会を開催した。

⑤ 依頼演奏会 (32 回)

企業・団体等からの依頼による演奏会を開催した。

(2) アンサンブル(小編成)事業等

① サロンコンサート

音楽プラザの施設を利用した「サロンコンサート」を年 16 回開催した。

② まちかどコンサート

市民が集まる場所で、より名フィルが親しまれるよう開催している「まちかどコンサート」を 21 回実施した。

③ 依頼によるアンサンブル(小編成)演奏

企業や団体等からの依頼による「アンサンブル(小編成)」の演奏活動を 44 回実施した。

④ 公開リハーサル

市民との交流を深め名フィルへの認知度を高めるため「公開リハーサル」を年 12 回開催した。

2 音の向上基金事業

オーケストラ演奏事業の充実を図るため、「音の向上基金」を活用して指揮者 2 名（マーティン・ブラビンズ、ティエリー・フィッシャー）、ソリスト 2 名（スーザン・ブロック、バークレー＝スティール）、首席客演コンサートマスター 1 名（ライナー・ホーネック）の招聘を行った。

3 エール基金事業

楽員の楽器の購入のためや、楽員個人が主催するリサイタルなどを支援するため資金を貸し付けている。